

保健部より注意喚起を行いました。

## 二学期が始まりました

八月二十五日より二学期が始まりました。

一学期の臨時休業明け発行の本紙でも書きましたが、やはり学校は生徒がいないといけませんね。夏休みが明けたと思うと顔が「にんまり」してしまいます。

生徒が来るとごらんのように活気にあふれます。お昼休みにお弁当や飲み物を買う様子ですが、休み時間に廊下がガヤガヤする音を校長室で聞くだけで、また「にんまり」。



回をして一生懸命答案に向かう姿を見てまた、「にんまり」。

二学期もたくさん「にんまり」できそうです。にんまり。

※休み時間等が密になりがちなので、翌日

## 進路活動本格化

三年生は夏休みも毎日のように学校に来て、進路指導を受けていました。

夏休みが明けると、校長室には三年生の願書や履歴書の下書きが回覧されてきます。国語科の校長としては、志願理由を添削するのが楽しみなのですが、私のところに到達する頃にはあらかた添削済み。言い回しの工夫ぐらいしか直すところがありません。丁寧な指導の跡が読み取れます。



長室を訪れます。

「はんこくください」なんていう生徒は一人もいません。部屋の入口をノックし、クラス番号氏名を名乗り、礼をし室内に入り、立ったまま簡単に用向きを説明します。ソファに着座を促すと一礼して座り、改めて詳しく用向きを説明した上で、「内容をご確認いただいて、こちらに印鑑を願います」と言って、書類の向きをこちらに向けて机に置きます。

社会人になり、仕事上で決裁をもらうのは日常茶飯事になることでしょう。当然練

習して校長室に来ているのでしようが、近頃三年生が急に大人になったなと感じるのはこういう積み重ねがあるからなんだなと思います。

連載小説 自動ドア 第三回

仙田ノモ

五分ぐらいかな、カエルの声を聞きながら考えをまとめていた。で、まとまったんで、もう一度パソコンに向かったんだ。カチャカチャ打ち始めた。ところが、なんか違和感があったんだ。パソコンが壊れたんじゃないよ、キーボードも壊れていない。

違和感って言うのは音だよ。音。カチャカチャって言うのは音だよ。音。カエルの声。その二つしか聞こえないはずだったんだ。ところが、もう一つの音が聞こえたんだよ。職員室の外、廊下からカチャってね。ちょうど金属と金属がこすれ合うような音なんだ。

それまで、変な音なんかしなかったなんて言わないよ。セメントや金属でできている学校は、結構いろんな音がするんだよ。



実家にね金属の屋根の倉庫があって、この屋根に太陽が当たると金属が延びて、パキッとかピキッとか音がするんだ。逆に、夕方日が陰っても金属が縮むから音がする。

学校も同じでね、昼間暖められた窓枠とかいろいろ金属が夜になると縮むからパキッとか音がする。それまでも、仕事をしていてそういう音は結構聞いていた。そういう音を聞いても、音がする仕組みを知ってるから違和感なんか感じないよ。当たり前って感じだね。

ところがそのカシャって音は、金属が縮むそれまでのパキッとは明らかに違うんだ。さっきも言ったように、二つの薄い金属がこすれ合うような音なんだよ。それでいて、

聞き覚えがある。初めて聞いた音じゃないんだ。よく聞くと、カシャ：カシャって感じで、少しの間を置いて二つの音が連続するんだ。カシャ：カシャ、カシャ：カシャ。

(続く)

## 校長のつぶやき

「勿来高だより」五号をお届けします。

「仕事でモチベーション(以下モチベ)が上がらないときは、どうしますか。」先日、若手教員から質問を受けました。

私は「仕事にモチベは関係ない」と答えました。

仕事には大きく分けて二つあると考えています。一つは、自ら考え、経験や研修が生かせる仕事。これらは、没頭し、やりがいを感じる仕事です。もう一つは、突然任せられ、準備や知識が不十分のまま取り組む仕事。躓(つまず)くことも多く、できない自分を自覚する仕事です。

前者はモチベ上がり、後者はモチベ下がる。こうして比べてみると、モチベは心の状態のように見えて、実は仕事の性質のようです。そして、大抵「モチベ下がる↓仕事が進まない」と言う文脈で現れます。

モチベ下がりやをいくら嘆いても、仕事に備わる性質なので変えようがないし、仕事が目の前から消えてしまうことはない。それなら、嘆くことはやめて、その時間で仕事を進め、終わらせ、それこそモチベの上がる趣味とかに時間を割いた方が理にかなっていると思うのです。

先日、本紙読者で、以前一緒に仕事をしていた大先輩から、「情熱もって仕事をしなさい」とご助言を受けましたが、少々冷たい感じ(無感情)の時があるのは、そういう理由だと言いついておきます(笑)。

(本紙中のイラストは「いらすこや」WEBよりお借りしています。)

